

# 畜産クラスター事業のポイント



## 事業見直しのポイント

- 従来の収益力の強化への支援に加え、新たに持続性向上タイプ<sup>°</sup>(農業構造転換集中対策)を追加
- 酪農への支援を再開(搾乳牛舎の再開、機械の頭数制限撤廃)



## 持続性向上タイプ<sup>°</sup> **新規**

集中対策期間の特例!

中小規模の生産者、新規就農者、経営の継承者が活用しやすくなります!!

### ① 収益性の向上には直ちに結びつかない様々な取組も支援

国産飼料の生産・利用、雇用の創出、**新規就農・経営継承**、アニマルウェルフェア、家畜衛生、野生鳥獣害防止対策といった**様々な取組**から**選択して**成果目標を設定

協議会内で支援チームを立ち上げればOK!  
★家畜導入も支援

### ② 施設の**補改修・中古機械**の導入を推進

施設：収益性向上の成果目標は不要(堆肥舎など非収益施設のみの改修も可)  
機械：中古機械に限り3者見積もりは不要

### ③ ①の取組の実現に必要な施設・機械を**補助対象に追加**

車両消毒ゲート、野生動物侵入防止柵、飼料生産用ドローンなど

### ④ **トラクターの導入に係る知事特認は不要**



## 酪農の牛舎の支援再開

施設  
整備

### 搾乳牛舎の申請受付を再開

※すべての搾乳牛舎整備の支援に適用

1頭当たり飼料作付面積が要件(北海道40a、都道府県10a)

※1 国産飼料購入分の面積換算も可

※2 都府県においては、給与飼料量の10%分を国産に置き換えることでも可

機械  
導入

### 頭数制限を撤廃



## 建築コストの高騰への対応

1平米あたりの知事特認単価の引上げ(基準単価×1.3倍を1.5倍に!!)

※共同利用施設は1.8倍!!

例) 肉用牛舎 現行62千円 → 改定73千円 TMRセンターの飼料庫 現行89千円 → 改定126千円

# 持続性向上タイプの成果目標

分類	主な成果目標
1 環境	① 国産飼料利用量の5% (3%) 増 ※( )は都府県 ② 堆肥販売量の5%以上の増加
2 地域経済・担い手	① 飼養管理のための給与等(人件費)の5%以上の増 ② 新規就農者・経営継承者への支援チームの構築と年3回の支援会議の開催
3 AW・家畜衛生等	① AW畜産物の販売量と販売単価の5%増 ② 家畜疾病発生率の5%低減 ③ 野生鳥獣による被害面積の5%低減

## 成果目標の設定と取組の例

### 例1 和牛繁殖農家における家畜衛生の向上

成果目標

サルモネラ感染症の発生率の5%低減

取組

牛舎内や車両の消毒の徹底

→ 出入口に消毒ゲートの整備、消毒用噴霧機の導入

### 例2 既存牛舎を活用した酪農家の親子承継

成果目標

継承支援チームの構築と、年3回の支援会議の開催

取組

牛舎内衛生と作業効率の向上による経営改善

→ バンクリーナーの改修、換気口の整備

→ 牛と従業員の間線確保のための通路の改修

### 例3 国産粗飼料の単収向上

成果目標

国産飼料の生産量を5%増加。

取組

高品質な堆肥製造による粗飼料の単収の増加

→ 雨水流入防止を強化するための堆肥舎の改修